

23分科会案内

10月8日(日) 9:30～15:30(9:00開場)

午前中合同基調

記念講演 浦池 卓巳 (おてらおやつクラブ)
お寺の地域で果たす役割が大きく変わり、日本中のネットワークにまで広がってこられた、「おてらおやつクラブ」の仕組みと宗教家の想いや取り組みをお聞きする。

基調提起

中西 大輔 (滋賀地方自治研究センター) 「我が事・丸ごと」地域共生社会のとらえ方と、少しずつ起きている小さなとくみへのエール、それらの社会的な背景を理解する。

成瀬 和子 (編)しみんふくし滋賀) 「抱きしめて琵琶湖」の後に誕生した「しみんふくし滋賀」の、志(こころざし)や取り組み、その理念をお聞きする。

村田 美穂子 (NPO法人 宅老所心) 介護保険制度ができる前から居場所を作ってきた。小規模多機能事業所を草津市で2か所運営。質の高いケアと、地域で元気に暮らすための思いをお聞きする。

1 高齢者の”持ち味”を「協同」で発揮する町づくりよ、進め。
地域の生活総合サービスを高齢者が学び合い、楽しみながら、実践する時代に。

2 成瀬 和子 (編)しみんふくし滋賀) これまで、助け、助けられ生きてきた。これから地域に、仲間、役割、仕事があることがどんなに幸せで、生きがいあることか。支援する側、される側ではなく、老いても若きも、一人一人が主人公の社会の実現を目指して。

3 松田 達也 (コープしが福祉事業部) 山口 豪 (ワーカースコープひろしま北部 協同労働プラットフォーム) 水口 武夫 (京都高齢者生活協同組合) 高橋 作榮 (近江八幡「おやじ連」) 谷口 浩志 (編)しみんふくし滋賀) 曾我 秀秋 (高知高齢者生活協同組合)

2 暮らしの自治をきずく。まちよ、次の時代へつながれ！

4 中西 大輔 (滋賀地方自治研究センター) 30年後、例えば人口が半分になっても、誰もが支え、支えられながら暮らす、持続可能な地域を創造していくために、今、私たちは何をすべきなのか。実践者の取り組みの中から考え、語り合ひましょう。

5 村田 美穂子 (NPO法人 宅老所心) 居場所をきっかけに多世代が集まる。思いが形になり、更に、つながりが出来る。共に生きる社会づくりへ、地域づくりの原点から始めましょう。

6 伊賀並正信 (米原市(みんなの家E+H)・木の駅いぶき実行委員会) 杉島 隆 (高島市社会福祉協議会) 梅村 頼子 (高島市安曇川町藤江区「子どもの家」) 福富 陽子 (共生 シンフォニーりぼーん) 中瀬 隆泰 (NPO法人 宅老所心) 柿村 優美 (ワーカースコープ「おおいた」) 小林純子・宮崎和子 (チタン & ステント)

3 居場所を生み出そう！多世代交流で、地域に賑わいと、新たな出番を。

7 村田 美穂子 (NPO法人 宅老所心) 居場所をきっかけに多世代が集まる。思いが形になり、更に、つながりが出来る。共に生きる社会づくりへ、地域づくりの原点から始めましょう。

8 伊賀並正信 (米原市(みんなの家E+H)・木の駅いぶき実行委員会) 杉島 隆 (高島市社会福祉協議会) 梅村 頼子 (高島市安曇川町藤江区「子どもの家」) 福富 陽子 (共生 シンフォニーりぼーん) 中瀬 隆泰 (NPO法人 宅老所心) 柿村 優美 (ワーカースコープ「おおいた」) 小林純子・宮崎和子 (チタン & ステント)

4 代わるもの 変わらないもの
新しい価値観で、自分サイズで生きることがかっこいい

9 野中 鉄也 (京都大学大学院工学研究科 准教授) 今の滋賀を、山から湖まで川の流れるように親でいくことで、生活、生命の多様性を軸とした新しい価値観を創造し、パトンを繋げていきます。

10 田中 陽介 (ファンキーファーム) 中村 清作 (滋賀県漁連青年会) 金嶋いよ子 (認定NPO法人ひわご豊稷の郷) 岡元ルミ子 (ワーカースコープ「鹿兒島・国分ほのぼの」) 中本 英宏 (ワーカースコープ「山口」) 堀部 祐輝 (龍谷大学農学部3回生) 杉田 健一 (NPO法人緑活おもや)

5 森は、人の「生きる力」を引き出し、蘇らせるパワーがある。
会場周辺の森で、自然観察とミニワークショップもしよう

11 島川 武治 (環境レイカース) 幼児から子どもまで、自発的な遊びの宝庫としての森。自然と子どもたちをつなげる教育者の育成。荒れた森林を整備するための積極的な「環境保全活動」[集落の再生]。体験活動、応援団づくり、すそ野が広がり、「生業づくり」へ。

12 三浦 美香 ((一社)比良里山クラブ) 丹羽 健司 (木の駅プロジェクト) 西澤 彩木 (せた森のようちえん) 越間 聡美 (ワーカースコープ「奄美・森の家くっかる」) 竹森 幸太 (ワーカースコープ「宮城登米」)

6 若者たちが地域づくりの主体に

13 岡部 茜 (大谷大学講師) 人生前半の「若者期」の変遷の中から、若者たちの生きづらさを若者自身のつぶやきから解き明かし、若者自身が社会の主体者、地域づくりの当事者として立ち表れるための課題と希望を見出し、政策・制度を考えます。

14 渡辺 真子 (NPO法人スマイルスタイル) 中村雄介・東方耀平 (NPO法人暮らしづくりネットワーク北志) 田村カズ子 (ワーカースコープ「京都第2」) 谷 諒次 ほか 3名 (Relife) 原 未来 (滋賀県立大学人間文化学部 准教授)

7 子ども・若者の「生きづらさ」「働きづらさ」の支援・専門性を見つめる。

15 島村 恒平 (あいとうふくしモール) 「子どもの学習支援」「若者サポートステーション」に携わるスタッフ自身が、若者として、その「支援」「専門性」とは何かを実践を通じてどう捉え、考えているかを語り合う。先輩たちの話も聞きながら、スタッフの立ち位置、あり方を見つめます。

16 日野 貴博 (NPO法人Atlas) 里 優美 (ワーカースコープ「長崎、おたくさキッズ」) 小倉由香里 (まんまる森のようちえん) 福島 孝一 (編)こなんSSN) 日野 貴博 (NPO法人Atlas) 里 優美 (ワーカースコープ「長崎、おたくさキッズ」) 小倉由香里 (まんまる森のようちえん) 福島 孝一 (編)こなんSSN)

8 障がいや困難を抱える人の「働く力」を引き出す「学校」と、職場での「定着支援」

17 森本 信吾 ((編)近江和順会 ヴィラ十二坊) 「滋賀ならではの」「奈良ならではの」「学校」「就労体験」の実践報告。「就労」につながる「学び」や「職場体験」プログラムの組み立てと、本人の特性を活かし成長を育む「職場づくり」の実践を報告します。

18 吉野 直治 (奈良県立二階堂養護学校) 永田 義人 (編)共生シンフォニー くれおかれっじ) 小谷 加代 (ワーカースコープ「高知」) 河尻 朋和 (編)あすこみっと) 安村 佳晃 (ワーカースコープ事業推進)

9 障がい者や困難を抱える人達が「共に働く」、協同の場づくり
だれもが「輝き」働く場、「支え」・「支えられる」職場づくり

19 中崎ひとみ ((編)共生シンフォニー) 障がい者はもちろん、就労困難者と言われる人たちが働く中でどのように変化していくのか。日々悩み工夫を凝らし、成功させた奮闘中の事業所の事例を学んで、職場の中でいかに協同を成り立たせ働いているのか、学びあいます。

20 瀬古 千代 ((編)近江和順会 ヴィラ十二坊) 佐藤 滋子 ((編)バレットミル) 竹越 修治 (ワーカースコープ「奈良西」) 山口 修志 (ワーカースコープ「博多」) 佐々木哲二郎 (まちづくり四日市役場(広島)) 西林 正男 (ワーカースコープ「ひろしま北部」)

午後合同セッション 2つの分科会 コメンテーターより報告

記念講演 宇野 明雄 (滋賀県 甲南高等養護学校 学校長) 小椋 猛 (学校法人 司学館) 中崎ひとみ ((編)共生シンフォニー)

10 子どもの学びと育ちを地域づくりに生かす
未来ある子どもたちが主体者として地域で生きることとは

21 幸重 忠孝 (幸重社会福祉士事務所) この分科会では、子どもたちの今を知り、困難を抱えながらも、地域の中で豊かな関係性が生まれている実践を通して、子どもを中心とした地域共生型社会の在り方を考えたいと思います。

22 谷口久美子 (NPO法人CASN) 大橋 栄志 ((編)若竹会 障がい福祉サービス事業部) 恒松 睦美 (NPO法人あめんど) +若者 宮川 草平 (宮川「ネ工業株」) 福山かおり (ワーカースコープ「草津みんなの家」) +子ども 谷口 郁美 (滋賀県社会福祉協議会)

11 孤立・分断された社会の中で、生き心地の良さを求めて
ともに生き、ゆるやかにつながる地域づくりのために

23 荘保 共子 (NPO法人地域包括こども支援センター こどもの里) 生活困窮社会。その現状とともに、制度の枠を超え、地域とつながり、地域の中で孤立を生まない緩やかな関係を育てる方策と地域の文化形成を探ります。

24 生田 武志 (野信者ネットワーク) 山本 宏子 (ワーカースコープ「日胆」) 山本 宏子 (ワーカースコープ「豊中まーる」) 加美 嘉史 (佛教大学社会福祉学部 教授) 奥平 明子 (ワーカースコープ「姫路」)

12 限界と常識を超える、持続可能な地域づくりへの挑戦
あるものを徹底して活かし、制度と政策をかけあわせる、地域づくりの総合戦略を探る

25 板持 周治 (雲南市役所政策企画部地域振興課) 人口減少や少子高齢化、産業衰退などの限界を越え、福祉、教育、産業、文化、労働など、制度横断・政策連携の動きの中で、持続可能な地域づくりに取り組む実践から、「地域の自治と経済」の可能性と課題について考えます。

26 厚谷 平賀 洋司 (大川村集落活動センター 結いの里) 田中 裕之 (鳥取県八頭町福祉課) 大谷 信一 (ワーカースコープ「さんいんみらい」) 古村 伸宏 (ワーカースコープ連合会)

13 ローカルファイナンスが拓く地域の未来

27 深尾 昌峰 (龍谷大学) 東近江三方よし基金など、地域密着で志のあるお金を活かす仕組みが実現し始めている。これから地方に必要なお金はどのように調達できるのか、また、その手段を活かしてどのような社会を実現していくかを議論します。

28 綾 康典 ((一社)がもう夢工房) 武村 幸奈 (朝はたけのみかた) 中須 雅治 (近畿ろうきん地域共生推進室) 山口美知子 (東近江市森と水政策課) 小白井加代子 (ワーカースコープ北関東事業本部)

14 ものづくりの未来～つくる責任・つかう責任～

29 内丸もと子 (Colour Recycle Network) 大量生産・大量消費・大量廃棄の現状を知り、その課題解決に向けてエシカル消費の考え方を学ぶ。つくる側(生産者)と、つかう側(生活者)の双方の視点から役割と責任を考え、ものづくりの未来に対する気づきの場とします。

30 辻 博子 ((一社)滋賀グリーン購入ネットワーク) 森下あおい (滋賀県立大学) 柳澤 知如 (link + しが) 大津 清次 (地域協同組合 無茶々園) 中島みちる (エトコロ) 北川 陽子 (ファブリカ村)

15 協同組合の歴史的・社会的使命を問う
市民主体の社会づくりの担い手として、協同組合を展望する

31 島村 博 (協同総合研究所) なぜ協同組合は生まれ、どのように運動として組織化・豊富化していくのか。協同組合への国家介入が行われる中、自治・連帯を掲げる協同組合が現代社会で何を為すのかを地域と生活を焦点にして問い合ひます。

32 角野 淑枝 (JA福井市殿下ふれあい支店) 北出 順子 (福井大学医学部) 西山 実 (滋賀県生協連) 尾添 良師 (ワーカースコープ神奈川事業本部) 石塚 正昭 (龍谷大学/日本協同組合学会) 前田 健吾 (JC総研) 相良 孝雄 (協同総合研究所)

16 協同で地域と仕事をつくる～コミュニティ新時代～

33 白杉 滋朗 (企業組合ねっこ輪) 地域での関係性が希薄になる中、住民同士が協同して仕事をつくり、新たな地域コミュニティを生み出す実践が始まっている。「協同してはらくこと」が生み出すものは何か。またこの動きを加速させる「協同労働の協同組合法」の動きも学び、市民自治の可能性を学びます。

34 馬場 義徳 (はんしんワーカースコープ) 佐々木洋志 (農事組合法人 田尻アグリワーカーズ) 池谷 啓介 (NPO法人暮らしづくりネットワーク北志) 永田 千砂 (ちまちま工房) 山本 幸司 (ワーカースコープ連合会) 竹森 鉄 (ワーカースコープ中四国事業本部)

17 女性がはぐくむ、地域で循環する暮らしとなりわい
びわ湖のせっけん運動から40年。第二世代の展望と挑戦。

35 村上 悟 (NPO法人碧いびわ湖) 持続可能で健やかな、地域に根ざした循環型の暮らしとなりわいづくりを、どう進めるか。滋賀県環境生協とNPO碧いびわ湖の歩みを軸に、循環型の地域づくりと、女性の暮らしとなりわいの未来を展望します。

36 園田由未子 (NPO法人愛のまちエコ倶楽部) 綾 牧生 (NPO法人碧いびわ湖) 高木あゆみ (琵琶湖フィッシュアンドチップス(木下実験室)) 清水真理子 (NPO法人川崎市民しげんブランド) 木下 史郎 (WORKERS NET RINGS) 小野 奈々 (滋賀県立大学 環境科学部)

18 エネルギー自治と地域経営
自然エネルギーによる豊かな地域のつくりかた

37 舘谷 一之 (北海道下川町長) 地域資源である自然エネルギーを地域の主体が活用することは、地域のエネルギー自給率の向上やCO2削減に加え、地域経済循環の促進や地域社会の自立的発展につながる。全国の先進的な取り組みを参考に、自然エネルギーによる地域づくりについて検討を行います。

38 豊岡 和美 ((一社)徳島地域エネルギー) 井上 博成 (飛騨五木株式会社企画研究室/京都大学大学院経済学研究科博士課程) 佐々木郁子 (あぐりーんみやぎ) 登壇者調整中 (ならこープ) 豊田 陽介 (認定NPO法人気候ネットワーク)

19 市民と政治の関係を考える
民主主義を深化させるために

39 三木 秀夫 (関西国際交流団体協議会・弁護士) 市民が政治的な動きをすることは、民主主義を深化する上で大切な視点であることから、市民に関わる政治的な課題を、市民運動のあり方、政策提言、熟議デモクラシーを取り上げながら考察します。

40 東 一邦 (さいたまNPOセンター) 永戸 祐三 (日本労働者協同組合連合会) 澤田 圭弘 (草津市役所公園緑地課) 阿部 圭宏 (しがNPOセンター)

20 「生の劇」を観よう！そして、語ろう！
くらしで創る、創ってくらす。さわやかな「協同シャワー」を、みんなで浴びよう！

41 劇団リーダー 荒木 昭夫 (京都高齢者大学校) 高齢者が半年かけて劇を創りました。「まちかどプロジェクト」は、それを生活にしています。自分の体験を演じ、思いを伝える障がい者の劇団。「バリアフリー探偵レイ」。宮城県県の「劇団ピアセラ」も創作。プロの演出家たちも見守り、講評します。

42 劇団リーダー 種田 洋平 ((編)共生シンフォニー まちかどプロジェクト) 劇団リーダー 佐々木禎史 (ワーカースコープ「仙台・ピアセラ」) 中田 達幸 (俳優・脚本家・演出家) 梶川 竜也 (ワーカースコープ「博多」)

21 食とエネルギーとケアの自立を目指す地域実践の現場から
ヒト・モノ・カネ・コトが地域で循環する持続可能な東近江地域の活動に学ぶ

43 基調報告 遠藤 恵子 (NPO法人まちづくりネット東近江) 食とエネルギーとケア(生まれてから亡くなるまでの支援)がしっかり地域で賄えることは、安心な暮らしを営む根幹です。地域の多様な分野が手をつなぎながら、なりわいとして自立を目指す団体や若者の参加を通して、地域のあるべき姿を探ります。

44 実践報告 増田 野村 山形 井上 隆 (NPO法人愛のまちエコ倶楽部) 正次 (あいとうふくしモール運営委員会) 蓮 (政所茶生産振興会) 慎也 (クミノ工房)

22 沖島移動分科会
自動車がないこの島では、ゆったりとした時間が流れています。

45 藤井 絢子 (NPO法人愛の花プロジェクトネットワーク) 淡水湖の中に人が住む島としては国内唯一で、世界的にも非常に珍しい沖島。歴史を自然に生かし 孫・子安心(サスティナブル)、エコの島づくり、なりわいづくりに挑戦中です。

46 琵琶湖ガイド 深井 鉄平 (滋賀県琵琶湖保全再生課) 漁業の現場から 奥村 茂 (沖島漁業協同組合) 食・生業を語る 奥村 ひとみ (龍島振興協議会 若手女性の会)

23 命と役割、人と経済をつなぐ 共に生きる地域づくり
湖南のイモ発電・アールブリュット 甲賀の木の駅プロジェクト

47 森田 数雄 (こなんイモ・夢づくり協議会) 近江の先人たちが力を合わせて守ってきた琵琶湖と森林。戦後住民たちが支えてきた障がいのある人たちの働きや暮らしが、自然エネルギーや表現、環境や地域経済にどうつながっているのか、現地を見ていただきながら伝えます。

48 池本 未和 (湖南市地域創生推進課地域エネルギー室) 竹中島島博 (甲賀木の駅プロジェクト運営委員会) 山本 綾美 (甲賀木の駅プロジェクト運営委員会) 溝口 弘 (コナン市民共同発電所プロジェクト) アールブリュット 牛谷 正人 ((編)グロー)